

「生きる力」を育む幼児教育に関するアンケート結果まとめ（幼稚園）

1 貴園の園目標を教えてください。

健康で、明るく、活動的に遊ぶ。

自分の意思をはっきりと伝え、自発的に行動できる子に育てる。

友達、保育者、周囲の環境とお互いの気持ちを伝えあい、協調し、尊重しあう。

2 子どもの「生きる力」を育むための幼児教育についての貴園の考え方を教えてください。

- ・園での集団生活や行事等の体験を通して忍耐力、感情抑制力、コミュニケーション力をつける。
- ・自分で考え行動する力が身につくようにする。
- ・幼児期に先生やお友達と関わり、思いやりの心、協調性を大切にする。
- ・子どもたちの個性を大切にしながら、集団生活で身に付けなくてはならない約束や決まりを守ることを基本とし、その上で、自分で出来ることを少しずつ増やしていく。
- ・集団で成し遂げた後の達成感を味わうことで、協力し、アイデアを出したりして一緒に活動する楽しさを知る。
- ・満足するまで遊び、自発性・創造性・社会性・感性・想像力・探求心・知的興味などを養うことで、自発性に基づく自律へとつながり、「生きる力」を育てる。
- ・幼児はそれぞれの興味関心に応じて自ら環境（ひと・もの・こと）に関わり探求し、やりたいことの実現のために課題を見つけ、様々なものと対話をしたり、友達と一緒に試行錯誤したりしながらやり遂げていくという体験を積み重ね、体験を経験化し新たな課題実現に向かうということを繰り返す。

3 上記1、2に基づいてどのような実践、取組みを行っているか教えてください。

- ・小さなことからできる経験を積むことで自己肯定感を高める。
- ・子ども同士が認め合うこと、協力しあうことを学ぶ。
- ・1人1人が落ち着いた環境で、自分の興味、関心に合わせた遊びや活動ができるようにしている。
- ・遊びの時間を大切にする。
- ・グループ活動等を通して、話し合いをする場を持つ。
- ・異年齢交流により、双方に効果的な環境を造る。
- ・幼児理解をもとにした環境構成と教師の援助を行う。

4 上記1、2について保護者の理解を得るための取組みを教えてください。

- ・入園説明会や保護者会などで園の方針や取組みを伝える。
- ・毎日の送り迎えの際、活動の成果ではなく、子どもが頑張った意欲や態度を認めて伝える。
- ・保護者会や園だより、ポートフォリオシート（画像とエピソードを通して学びや育ちを語るもの）などで、園の方針やクラスの様子などを保護者に発信する。
- ・動画配信や連絡アプリの導入でお知らせやスナップ写真を多用したネット配信を活用した。
- ・一つ一つの取組みへの教師の願いやその取組みの過程を伝え、園が大切にしていることを理解いただけるようにしている。

5 「生きる力」を育む幼児教育を実践するにあたっての課題を教えてください。

- ・成績のように数値化できるものはないので、評価が難しい。
- ・保育目標や日々の事例を共有するなど、全職員で同じ認識を持てるような職員教育が必要である。
- ・変化の激しい時代の中で、これからの時代に求められる「生きる力」とは何なのかが見えづらい。
- ・環境の整備や安全の確保のための経済的な支援が必要である。
- ・教育や教師の質向上のための研修開催などの取組みへの意識を高く持つこと。

6 小学校教育との円滑な接続に向けて近隣の小学校における児童と幼児との交流活動を行っていますか。また、その内容を具体的に教えてください。

定期的に行っている 25% (3 園) 不定期に行っている 25% (3 園)  
行っていない 25% (3 園) 未回答 25% (3 園)

定期的に行っている内容

- ・年度末に年長組が小学校を訪問する。
- ・小学校理科教師が来園し「理科実験教室」を実施している。
- ・小学 5 年生と一緒に小学校内のいろいろな場を巡るスタンプラリーを実施している。

不定期に行っている内容

- ・園児が進学予定の近隣小学校生が、小学校の PR 動画を制作し、その DVD を年長児全員で鑑賞した。
- ・入学式へのお祝い電報を送る。参観日や運動会、作品展などへ参加する。

7 小学校教育との円滑な接続に向けて近隣の小学校と職員間の意見交換など何か連携活動を行っていますか。また、具体的に内容を教えてください。

定期的に行っている 33% (4 園) 不定期に行っている 25% (3 園)  
行っていない 17% (2 園) 未回答 25% (3 園)

定期的に行っている内容

- ・副園長が近隣小学校の『開かれた学校づくり協議会委員』として定期的に意見交換を行っている。
- ・年度末、就学先の小学校の先生と、就学する園児の申し送りを、小学校からの依頼によって行っている。
- ・学園内小学校の先生と、学園全体の研修会（年間 3 回）にて教育実践の共有や意見交換を行っている。

不定期に行っている内容

- ・年長児について、小学校からの観察巡回や就学に向けての意見交換などを行う。
- ・就学に向けて、課題のある子どもの家庭に市の支援シートを勧めて提出して頂く。
- ・就学に向けての連絡会の開催。

8 幼児教育と小学校教育の円滑な接続を目指した連携を行う上での課題を教えてください。

- ・例年の行事や日常保育のカリキュラムが多いため、就学児の引継ぎ以外の連携を行う余裕がない。
- ・小学校の先生方と交流を持ちたいと思うが、お互いのスケジュールや交流できる時間帯が分からない。
- ・入学して子どもたちが直面する困りごとなどの情報を知る手立てがない。
- ・小学校教育は教科指導を中心としていること、幼稚園教育は遊びと生活を中心としていることで、それぞれ評価にも違いがあるためには、それぞれが違った取り組み方、評価の仕方をしていることを理解することが必要。